



地域の防災講座 ～いのちを守るために～

はじめに

今年1月1日に突然「能登半島地震」が起きてしまいました。そこで私たちは、地震災害について“しっかりと学ぼう”と言うことで、この講座を企画しました。当日は115名の方に参加して頂きました。

オンラインで、3会場同時開催

- ・細川市民ホーム45名
- ・北斗台会館41名
- ・仁木会館20名
- ・Zoom参加9名



細川学区市民ホーム

Zoomでオンライン配信

防災・減災講座

【1】いのちを守るために

講師：岡崎市役所防災課 近藤様



北斗台会館



仁木会館

1. 災害の危険から命を守る

今後南海トラフ地震が起こる確率は70～80%と予想されている。細川地区は震度6弱と予想
 ● 先ずは、岡崎市の危険性を知ることが大切です。

- 1月の地震で能登半島中能登町が「震度6弱」でした。
 (一例) ・立っていることが困難、身動きできない。
 ・固定していない家具は移動し、倒れる。
 ・ドアが開かない、ガラスが割れる。
 ・エアコンは落下する。



過去の地震で、人的被害が最も多かった所は？ 消防本部の経験を交えて話す 近藤さん
 ”寝室”です。・・・夜中に目が覚めて、直ぐには動けません。

エアコンの、真下には寝ないことです。

家具、食器棚などの転倒防止対策をしておくことです。 キッチンも危ない

2. 被災後を生き抜く

- ・避難先を調べる。
 近隣待機場所（公園等）／指定緊急避難場所（新香山中学校等）／
- ・直ぐには、避難所は整はない。／指定避難所（細川小学校等）
 過去の例から、一週間後位からとなる。
- ・避難所の運営は、利用する人たちの「自主運営」が原則です。
 ルールを守り、協力して
- ・車中泊で気をつけなければならないことは「エコノミークラス症候群」です。
 血液の固まりが、心臓や肺まで行ってしまう・・・小まめに水分を取り、運動をすること。
- ・食料品は、最低3日分は蓄えておくこと、できれば7日分。
- ・日頃から食料を多めに蓄えておき、食べたら買い足しておくといいです。
 通帳、免許証、保険証の写し。 靴・ヘルメットも準備しておくとい。



次項へ続く



【2】能登半島地震ボランティアの話し

(1) 北部地域包括支援センター 和出様
七尾市の矢田郷コミュニティーセンターへ
1月と、3月の2回行ってきました。

～3月24日までは、ボランティアさん達が
まだ自力で、炊き出しをしていました。

- ・25日から、やっと市から1日2回の弁当が配布されるようになりました。
真冬だから、仮設トイレに行くのも大変。寒くて倒れそう！ アンモニア臭も凄い。
- ・仮設のシャワーもあるけど、軒先なのでとても寒くてたまらない。
- ・ドキンちゃん作戦・・・ベッドに近い所は、土足禁止！
病気が蔓延する可能性が高いので、フローアを掃除機、コロコロがけして清掃しました。
ホコリ、髪の毛、食べ残し、など・・・

⇒ルールを決めてしっかり守る。

できることをみんなでやる！・・・生きる為に。

- ・1週間すれば備蓄品が来る。
それまで、何とか持ちこたえることが大事。

(3月に行った時)

全国各地から応援メッセージが届いていました。

気持ちを寄せ合って、勇気づけられました。

”能登と気持ちを一つに”・・・きうちこども食堂
(強く想うこと)

★やっぱり、地域の人と人の繋がり、絆が大事だと思いました。

～あそこに、お年寄りのおばあちゃんが居たなあ・・・

(2) 細川学区福祉委員会顧問 柳様

輪島関の妹さんとのご縁がきっかけで、七尾市に1月30日から日帰りで計8回訪問しました。
石崎小学校の集団生活での困り事、何が必要とされ、どうして欲しいかの御用聞きです。

トイレや体育館の汚れが酷いこと・・・排泄袋、おむつの山々！
水不足や断水で生活用水が足りない中、トイレ掃除をした →

七尾市の倒壊家屋：1万3千棟。 公費解体は2軒のみ
手続きに時間がかかり大変！持ち主不明の場合なかなか進まない
・・・七尾市以北の珠洲市などは、もっとひどい。

(みなさんに伝えたい事)

- ・日頃みなさんがいきいきと集まること自体が、とても大切なこと
だと思います。
地域のみなさんがつながれる。細川いきいきクラブ活動は良い例

七尾市からのメッセージ

- ①能登のことを、忘れないで欲しい・・・時間が経つてくると、人々の記憶から遠のいていく。
- ②買い物支援を。・・・和倉温泉の復興なくして、七尾市の復興はあり得ない。

大切な事

・・・3人の講師が口を揃えて言われたこと

日頃から近所付き合いを大切に。人と人の繋がりと絆が大事です。
自助、共助



思いを込めて語る 和出さん



優しく寄り添ってあげる



しっかりと汚れを落とす 柳さん

ほそかわこども食堂 って どんなところ？



「こども食堂」とは、子ども1人でも行ける無料または低額の食堂です。全国で約9,000ヶ所以上、岡崎市内では35ヶ所あります。

ほそかわこども食堂ひまわりはボランティア団体の主催で、2024年4月から活動しています。気軽に地域の方がふれあえる居場所で誰でも参加できます。

(食品ロスの観点からも、なるべく予約をお願いします)月に1回、細川町第1公民館で11:00～14:00まで開催。

こども (18歳まで) 無料、おとな300円～応援金をお願いします。

次回の開催は 9月22日 (日) です。 みなさん 出掛けてみてはいかがでしょうか？

みなさんへ

細川学区にとって、大事なこども食堂。 地域みんなで、支えましょう！
福祉委員としては、ボランティアで駐車場の整理などに参加しております。

虹っ子ひろば



今年度の子育て支援「虹っ子ひろば」がスタートしました。6月11日 (火) 親子サークル「あ・そ・ぼ」の皆さんと一緒に手遊び、ボール遊び、音楽に合わせてふれあい遊び。8組の親子の方に参加して頂き、笑顔がいっぱい、楽しいひと時を過ごしました。

ありがとうございました！

次回は9月25日 (水) 親子ヨガを予定してます。会場は仁木公民館
詳しくは町内回覧板でご案内します。
お友達をお誘いの上、たくさんのご参加をお待ちしております。 虹っ子ひろばスタッフ一同



この『細川福祉だより』は、学区住民のみなさまにご協力いただいた共同募金の一部を財源に発行しております。

北斗台団地で「くるりん北斗」の実証実験

住民ボランティアで約1ヵ月、無事終了 5/7～6/2

※利用者数：843名（内訳：定時路線565名、予約路線278名）

平均一日あたり利用者数が31.2人、休日は多く45.8人。

住民の意見（利用者アンケートから抜粋）

- ・近場を気分転換で移動、高齢者や子育て世帯までメリットがある。
- ・今は健康のため歩きたいが、しんどい時は利用したい。
- ・普段のメグリアや岡信は徒歩ですが、帰りは荷物が重くて今回くるりん北斗に乗れて助かった。今までは重い物は買わないようにしていました。
- ・免許証返納から5年、最初の頃はさほど感じなかったが、この2、3年 北斗台という場所がこんなに不便だとは思わなかった。最近足の具合悪くなったので、是非本格運行を切に希望します。

今後について

利用者アンケートからは本格運行に繋げて欲しい
期待していますとの、意見が多数ありました。



見て乗ってワクワク体感！



メグリアで買い物帰り

私の趣味・植物画

- ・花びら、葉、茎の形、大きさ、色等を一つ一つしっかりと観察し丁寧に描く植物画。
- ・昔から絵を見るのが好きで、50才を過ぎてから文化センターの水彩画教室に通いました。
- ・植物画で難しいのは、花や葉の色を作る事です。
*コツコツと描いています。(T. 長坂)

